

QAW Ver.3.6i SP1標準搭載

ライセンス管理機能

License Guard ご紹介

クオリティソフト 株式会社

開発経緯と適用シーン

■ 開発経緯

- 日立情報システムズ社内のソフトウェアライセンス管理徹底のため、2000年より開発着手
- 2002年より全社導入 同時に「License Guard」販売開始。
- 現在、子会社4社にも展開、登録PC台数 約15,000台
- 購入ライセンス登録数 約19,000件

■ 適用シーン

- ライセンスの過不足状況把握
- ライセンス活用の最適化によるコスト低減
- 遊休ライセンス・セカンドライセンスの有効活用
- 必須ソフトの導入、バージョンアップの進捗確認



日立情報システムズで
開発、運用中!
ノウハウ満載!!

**ユーザの立場で開発、自ら運用することで
環境変化に合わせた機能アップを継続中。**

ライセンス管理の問題点

ツールメーカーの調査・監査の増加

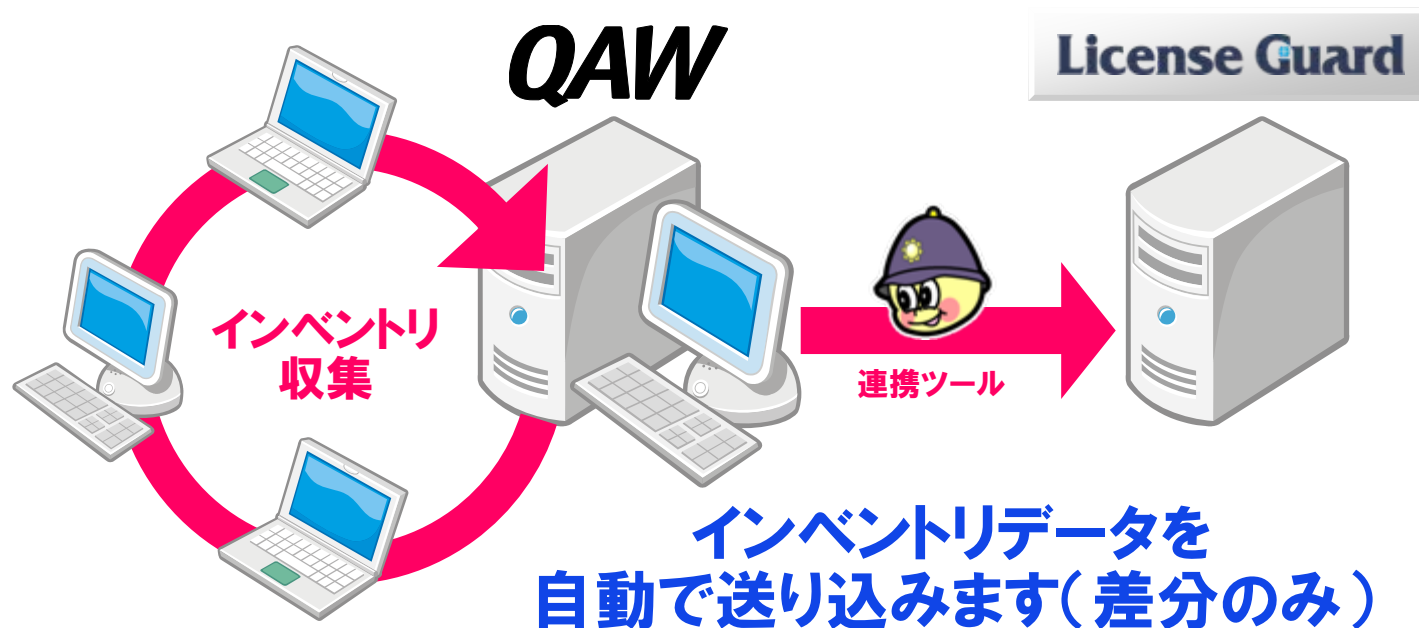
- 単体ライセンス → 様々なライセンス形態
- 著作権保護団体への内部通報が増えている
- ソフトウェアの売れない時代、
違法コピー撲滅で正当な利益を

ライセンス管理の問題点 - 管理者の工数増大

- **様々なライセンス形態の管理**
 - ソフトウェア毎に使用許諾契約書を読み解く必要
- **棚卸しの必要性**
 - どんなソフトウェアがどのPCにインストールされているか？
- **購入ソフトウェアとインストールソフトウェアを突合せ**
 - 購入形態、ソフトウェア名、PC名、使用形態等を突合せる必要

リスクも、やらなければいけないことも増えているが、コストは掛けられない・・・

連携の全体像について



サーバは同一筐体で使用(一部制限あり)

※License Guardは、QAWの一機能として連携動作する、株式会社日立情報システムズの製品です。

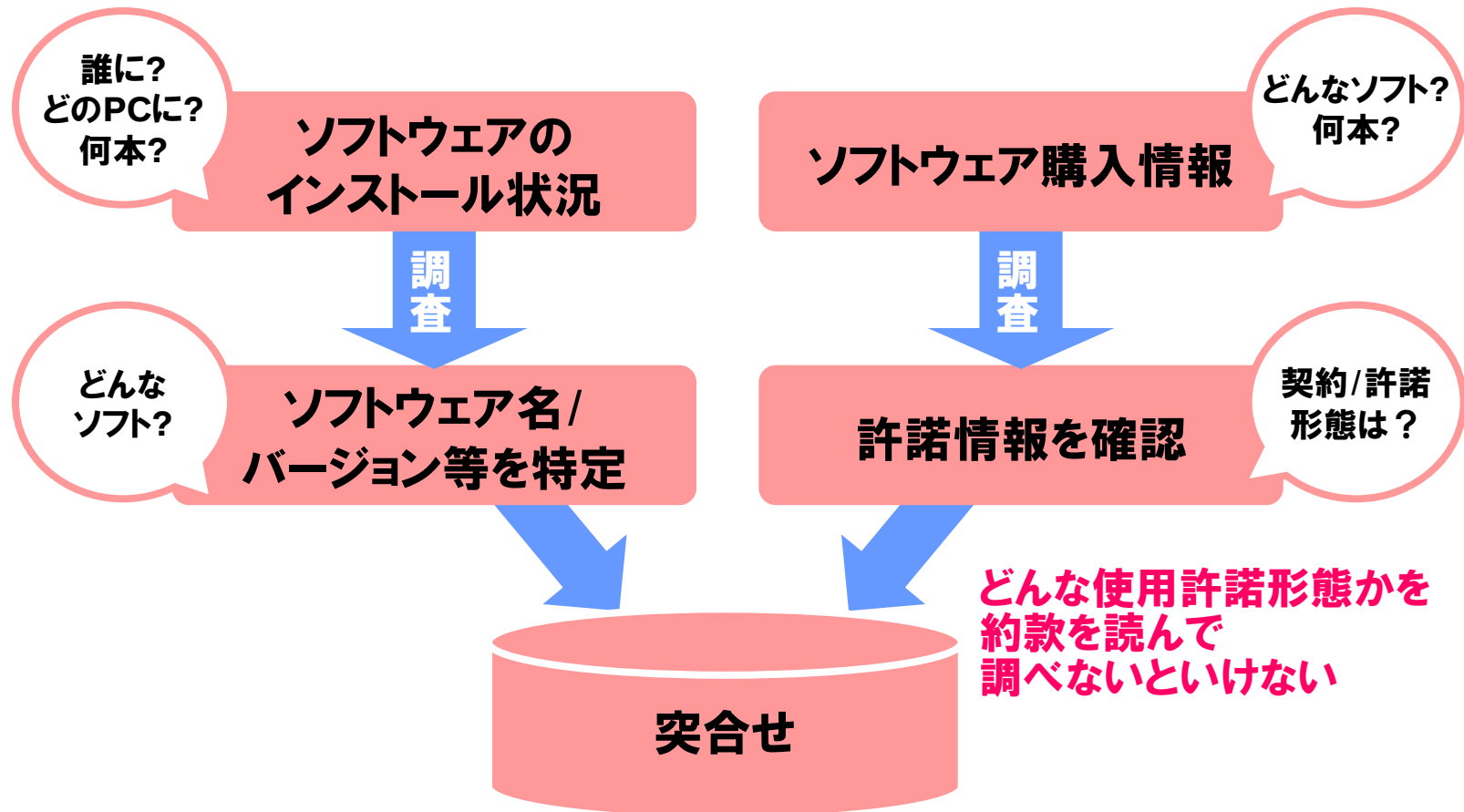
ライセンス許諾形態の種類

様々なライセンス形態が存在し、種類が増えています

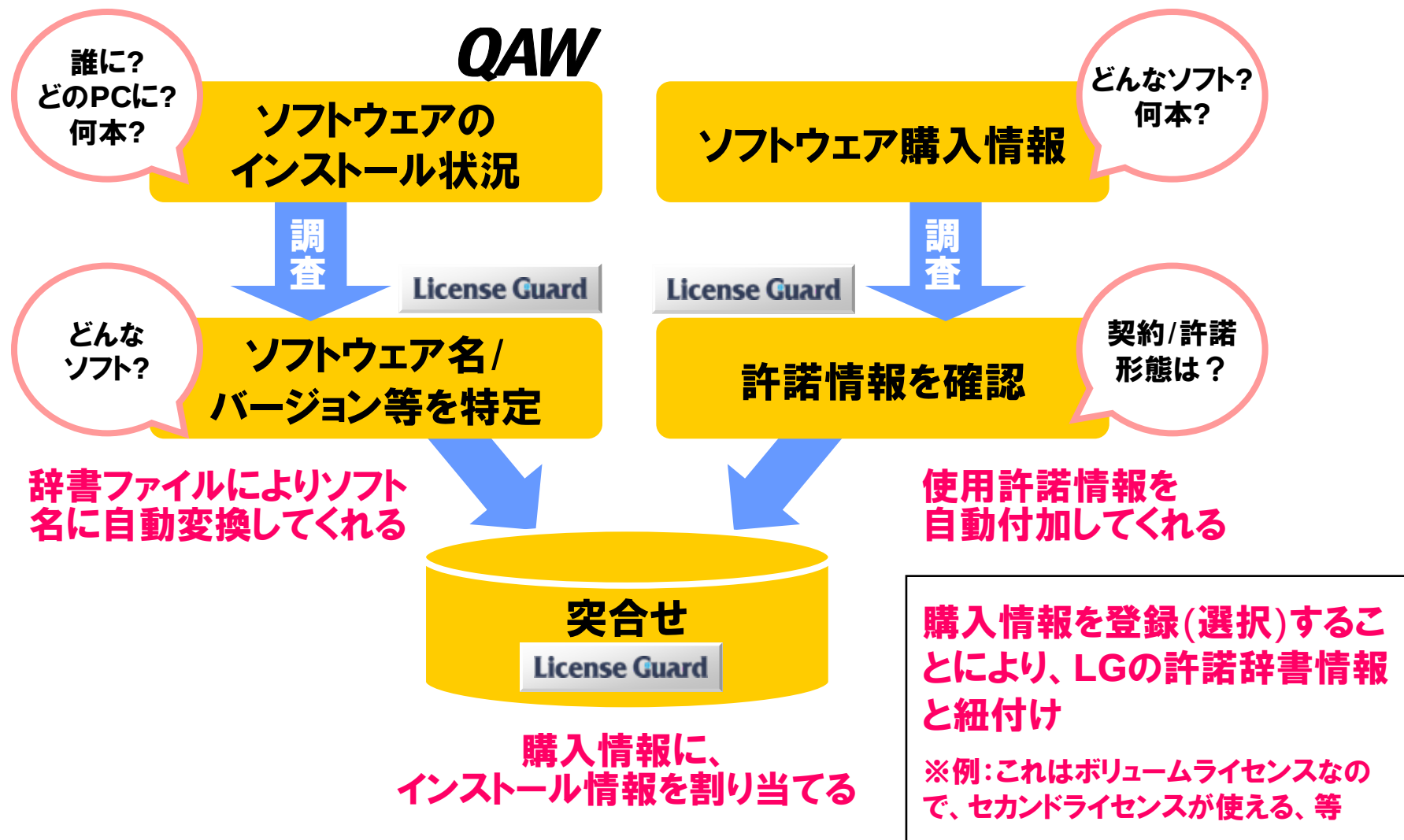
デスクトップ型	マシン固定ライセンス	付随契約	アップグレード
	ユーザ固定ライセンス		ダウングレード
	選択型のライセンス (マシンorユーザ固定)		セカンドライセンス
クライアント/ サーバ型	プロセッサライセンス		使用期限契約
	サーバライセンス		バージョンアップ契約
	クライアントライセンス	販売形態	パッケージ
その他	監視対象マシン数		プレインストール
	サイトライセンス		ボリュームライセンス

参考:<http://c00195375.intra.hitachijoho.com/license/licenseform/index.html>

ライセンス管理としてやるべきこと



QAW + License Guardがあると



License Guardの最大の特徴

- 1 exeファイルからソフトウェア名に自動変換**
- 2 約款辞書により、厳密なライセンス割り当てが可能に**
 - ライセンス約款(使用許諾契約書に書かれてある情報)が既にLicense Guardに登録されている
 - 管理者はそのラインナップから選ぶだけ
 - ライセンス証書を1つ1つ読み解き、登録する手間がないので楽
 - 10年間の蓄積で、約1700種類のライセンス約款情報が辞書化済み
2011年4月には、約8000種類に増える予定

コンプライアンスだけでなく、管理工数の削減、ライセンス料の削減も可能に

License Guardがある事によるメリット

■ 管理工数削減

- 使用許諾契約書を読み解く時間が大幅に削減可能
- 約款辞書を持っているのはライセンスガードだけ

■ コンプライアンス遵守

- 約款辞書があるため、間違いが無い
- 使用許諾契約書に沿った突合せしか出来ないような仕組み

■ コスト削減

- ライセンスの有効活用が出来る
- セカンドライセンスや企業契約等、有効な契約が選択可能に

もしもの時にも安心です

QAW+License Guard同居の動作環境(目安)

管理PC台数	CPU	メモリ	ディスク	DB
500 台まで	Pentium 4 2Ghz 以上	1GB 以上	30GB 以上 (RAID推奨)	SQL Server 2005 Express Edition 以上
1000 台まで	Core2Duo 2Ghz 以上	2GB 以上	50GB 以上 (SAS RAID推奨)	SQL Server 2005 Express Edition 以上
5000 台まで	XeonDualCore 2GHz 以上	4GB 以上	250GB 以上 (SAS RAID推奨)	SQL Server 2005 Workgroup Edition 以上

※メモリはPCに搭載されている実メモリ容量を示しています。

※QAWのインベントリ履歴は10回分保存する運用を想定しています。

※SQL Server 2005 Express Edition(無償版)対応クライアント台数の上限は2000台です。

ServerOS: Windows Server 2003 / 2003R2 / 2008 (全て32Bitのみ)

SQL: SQL Server 2005

※QAW、LG、連携ツール それぞれの稼動OSが違ふ為上記となります。

※Server:2003 / 2003R2 / 2008の64Bit版対応は2011年1月予定、

2008R2(64bit)対応は2011年3月対応予定

※SQL: 2008は2011年6、7月対応予定です

※QAWとLGが別筐体の場合は要相談

ライセンス許諾形態の例①

本ライセンス使用許諾書は、お客様と〇〇社との間に締結される法的な契約書です。〇〇社は、お客様が本契約書のすべての条項に同意される場合に限り、本ソフトウェアを使用することを許諾します。

お客様が指定された1台のコンピュータに対し、本ソフトウェアのコピー1部をインストールして使用できます。

1. 本ソフトウェアのインストールしたコンピュータを主に使用する方と同一の方が使用することを条件に、別の1台のポータブルコンピュータに、本ソフトウェアの第2のコピーを作成することができます。ただし、ポータブルコンピュータとプライマリコンピュータで本ソフトウェアを同時に使用することはできません。
2. お客様は、予備もしくは保存を目的として、1部のみ本ソフトウェアの複製を作成することができます。ただし、バックアップ用の複製がいかなるコンピュータ上にもインストールあるいは使用されないことを条件とします。

ライセンス許諾形態の例②

〇〇社が要求した場合には、お客様は弊社に対し、お客様が使用されているすべての弊社の製品について、**お客様が許諾されているライセンス数と実際に使用されている製品の本数の報告をするもの**とします。また、〇〇社は、お客様が本ソフトウェアを本契約に従って使用されていることを証明する記録、システム、および設備を**調査する権利を有するもの**とします。

「保有ライセンス数 $\geq$ 使用ライセンス数」を守ること以外にも、重要な使用許諾条件が記されています

ライセンス約款に基づくライセンス管理(求められる機能)

こんな機能がツールに備わっていないと、管理者は工数が膨大に

■ アップグレードライセンスの場合

- 元Lic/アップグレードLic/インストールLicを紐付けできる事
- 紐付け後、元Licは数としてカウントしない事
- プリインストール版と紐付けた後は、紐付け解除が出来ない事

■ ダウングレード使用権の場合

- ダウングレード可能な製品が定義されている事
(不正なダウングレード登録を防止できる機能)
例: パッケージの場合はダウングレード不可、SELECTは可能、等

**ライセンス約款毎のカウント、紐付けが行えなければ
真にライセンス管理が出来るツールとは言えません**